

【2年進路指導年間スケジュール】

学期	月	学校行事	進路行事	
			行事	目的
前期	4月	始業式 入学式 球技大会	スタディサポート (前年3月実施) 個人面談 志望校調査	1年次の学習内容の検証と新規スタートを図る。 学習習慣と生活習慣を見直す。
	5月	生徒総会 1回考査 PTA総会	家庭学習実態調査 (志望校調査)	高2生としての充実した学習習慣を作る。
	6月	修学旅行(2年) 東雲祭(体育祭)	第1回校内実力考査 ハイレベル模試 (駿台・希望者) 進路講演会(総合) 個人面談	基礎学力の確認と弱点の早期発見をする。 難関大学志望者の中での自らの位置を把握し、学力の向上を目指す。 2年生としての過ごし方のポイントを知る。 進路志望について。
	7月	2回考査 三者面談 オープンスクール1	進研模試 (3教科・記述) 三者面談	3教科の学習到達度を知り、志望校を考える契機とする。 学校生活、家庭生活の情報交換と進路志望について。
	8月		夏季学習セミナー ハイレベル模試 (学研・希望者) 全統模試 (3教科・記述) 夏季補習	進路意識の向上を目指し、自主的・計画的学習能力の育成を図る。 夏休みまでに修得した思考力・表現力を試す。
後期	9月	終業式 東雲祭(文化祭) 前期末考査 オープンスクール2	個人面談	後期に向けての学習を含めた生活習慣を見直す。
	10月	始業式 創立記念日 3回考査 芸術鑑賞	ハイレベル模試 (駿台・希望者) 進研模試 (5教科・記述) 第2回校内実力考査 家庭学習実態調査	難関大学志望者の中での自らの位置を把握し、学力の向上を目指す。 7月模試での課題の解決状況の確認と地歴・理科の学習内容の充実を図る。 広範囲にわたる学力の測定によって、大学入試を意識した本格的な学習の足がかりとする。 5教科態勢での学習習慣の確立を確認する。
	11月	科目選択(2年)	(志望校調査)	
	12月	4回考査 球技大会	二者面談 冬季補習	志望校群の決定に向けて。 今年の総まとめと弱点強化を図る。
	1月	センター試験	進研模試・東大レベル模試(記述) 家庭学習実態調査 第1回校内模試 (志望校調査)	2年間の学習成果検証と大学入試に向けた学力を測る。 受験生として、学習習慣の確立の成否を確認する。 校内模試として、大学入試に求められる記述力・論究力の到達度を測る。
期	2月	年度末考査 国公立前期試験	個人面談 全統模試 (5教科・マーク)	志望校群の決定に向けて。 センター試験に向けて、受験生としての意識を高める。
	3月	卒業式 国公立中期後期試験 終業式	春季補習	受験生としての目標を明確にする。 1年間の総まとめと受験に向けての学力向上を図る。

進路学習のポイント	学習のポイント
<p>スタディサポートの結果や担任との面談を通して自己を分析し、進路目標を明確にしていく。</p>	<p>学校行事や部活動で多忙になる前に、生活習慣や学習習慣を見直し、2年生として求められる学習スタイルの確立を図る。 ○予習→授業→復習の学習サイクルを中心とし、週末課題などを有効に活用して、さらなる学力の向上を目指す。 (平日200分以上、休日360分以上の家庭学習)</p>
<p>学部・学科、大学について研究する(1) 自らの進路希望を実現するため、学部・学科、大学研究を進める。 ○職業や資格と学部・学科、大学との関連を研究する。 ○現在の興味・関心から学問研究を進め、学部・学科研究につなげていく。 こうした研究から、志望校群を考えていく。(現状の学力で安易に志望校を決めるのではなく、高い志望を持って学習に励む。)</p>	<p>定期考査、校内実力考査、ハイレベル模試、校外模試と続くテストを有効に活用する。 ○テスト2週間前には学習計画を立て、十分な準備をしてテストに臨む。 ○テストは事後の学習が重要ポイント。必ず、テストの見直しをして、弱点をチェックする。</p>
<p>学部・学科、大学について研究する(2) オープンキャンパスに参加するなどして、学部・学科・大学研究を深化させる。 ○キャンパスを訪れ、大学での学問の実際を肌で感じる。 ○大学研究の成果をレポートにまとめる。</p>	<p>不得意科目の克服、得意科目の伸長を図る。 ○夏休みは時間をかけて復習できる数少ない大切な期間。弱点科目の学習に徹底的に取り組む。 ○課題をこなすだけでなく、入試に向けて得意科目を伸長させるよう、計画的に学習に取り組む。</p>
<p>進路希望・進路目標を明確にする ○夏休みを通して行った学部・学科・大学研究をもとに自分の将来像をより明確なものにし、それを実現する学部・学科を持った大学を重点的に調べ、志望校群を決定する。 ○大学入試のシステムや入試科目を調べ、3年次の科目選択を決定する。 ・入試科目を調べることで、進路希望を実現するために必要とされている学力がわかり、今何を成すべきかが明確化され、学習の意欲が喚起される。 (国公立大学であれば2次科目だけでなく、CTで課されている科目も重要。)</p>	<p>夏休み気分を一掃し、5教科態勢に向けた学習時間を確保する。 ○3教科に重点を置いていた学習方法から、地歴・理科の学習にも十分な時間をとる。 (決して3教科の学習時間を削らない)</p>
<p>志望校群を決定する 志望学部・学科群の中から、これまでの進路学習の結果と校内模試・校外模試などの成績をもとにして志望校を選定していく。 ○志望校は現在の成績を基準に、難易レベルの上下に幅を持たせて決定していく。 ○学部・学科・大学研究を疎かにしているとその時点で困ったことになる。慌てないように準備をしておくこと。 ○このテーマは3年次に継続。</p>	<p>校内実力・校外模試を利用した発展的学習に取り組む。 ○定期考査は2ヶ月という短い期間の学習到達度を測るが、こればかりを目標にしていたのでは入試に対応した実力は身に付かない。模試を軸にしたもう一つの学習スタイルの確立を図る。 ○予習→授業→復習のサイクルを確保しつつ、模試に向けて計画的に学習に取り組む。 (平日240分以上、休日420分以上の家庭学習)</p>
	<p>3年生0学期として本格的受験勉強のスタートを切る。 ○センター試験や大学入試問題にチャレンジし、1年後の到達目標レベルを体感する。 ○5教科態勢の学習スタイルを完成する。 ○春休みは弱点克服のための学習ができる最後の長期休業である。ここの踏ん張りが受験での成否を大きく左右することを自覚しよう。</p>